



OBAYASHI



OBAYASHI ROAD

打ち水技術

[街を潤す「打ち水」技術]

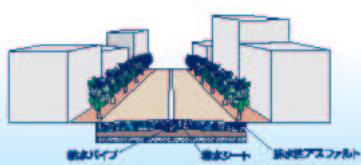
概要

水の力で都市を冷却し潤いのある環境をつくる技術

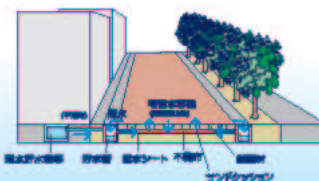
大林組と大林道路は、都市のヒートアイランド対策に「打ち水」効果を利用する技術を提案しています。舗装や建築物等の構造物の表面温度を冷却することで、潤いのある都市環境を創造しています。

街のいろいろな場所での活用

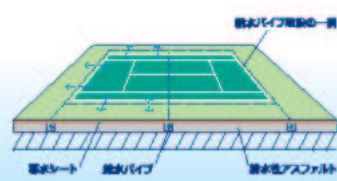
車道「打ち水ロード」



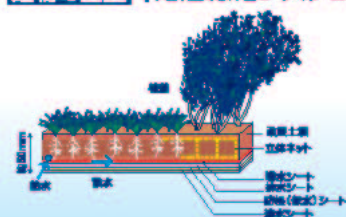
歩道「打ち水ペープ」



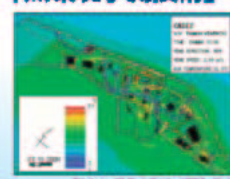
グラウンド「打ち水ターフ」



建物の屋上「薄層緑化システム」



壁面「多機能緑化壁」

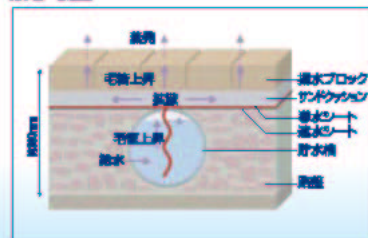
「打ち水」効果を事前に評価
「熱環境予測技術」

特長

水溜まりの出来ない「打ち水」

「打ち水」効果を継続的に維持できる舗装システムです。表層下面から給水した水を毛細管現象によって吸い上げ、路面を湿潤状態に保ちます。路面上への散水とは異なり、水溜まりの心配がなく、過剰な水を必要としません。また雨水は、速やかに浸透・保水して、有効に利用します。

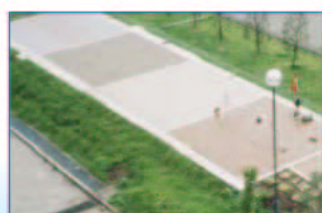
給水部 断面図



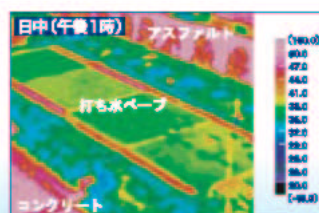
雨水、上水、工業用水、地下水、中水、下水処理水、地下鉄の湧水など地域に見合った用水を選択できます。

性能

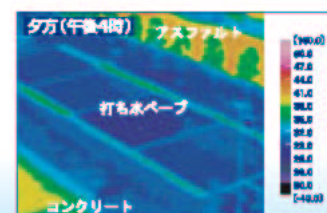
路面温度の比較例



高層モデル実験体 (4m×4m×4工区)



サーモカメラによる熱画像



真夏日でも従来のアスファルトと比較して、表面温度を約2.5℃低下させることができます。